

基本目標 2 「安心して暮らせるまち」における意見の整理（事務局案）

No.	施策	頁	ご意見等の内容	事務局案	区分
1	地域福祉の充実	43	ささえあい協議会は、中学校区単位では町内ごとの課題が見えにくく、活動の形骸化を指摘する声もある。また、話し合った内容が実現しなければ参加者の意欲低下につながる。小学校区単位での活動を含め、圏域・運営のあり方や、地域課題を具体的な取組につなげる支援を検討してほしい。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「地域福祉の推進に当たっては、地域の実情や課題の特性に応じて各圏域の役割を整理するとともに、地域で話し合われた課題を具体的な取組につなげることができる実効性のある支援体制を整えられたい。」	主要意見
2	地域福祉の充実	43	高齢者、障がい者、生活困窮者、子どもなどへの包括的な支援には、縦割りを解消する横断的なネットワークが必要である。ささえあい協議会の再編も検討してはどうか。		
3	高齢者福祉の充実	45	地域のつながりは生きる力にもなるため、共生社会における地域との関わりの大切さを示し、その重要性を啓発してはどうか。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「地域住民一人一人が地域とのつながりの大切さについて理解を深められるよう、啓発をはじめとする関連施策を推進されたい。」	主要意見
4	地域福祉の充実	43	ひきこもりや不登校の状態にあり、校区外のフリースクール等に通うこともないと聞く。こうしたこどもの交通費等は、「包括的な支援体制の整備」における支援に含まれるのか。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「ひきこもりや不登校のこどもが、個々の状況に応じて多様な学びの機会を確保できるよう、関係施策を連携させ、必要な支援を進められたい。」	主要意見
5	地域福祉の充実	43	社会福祉協議会は市の予算を活用して様々な取組を行っているが、市民の認知度が低い。社会福祉協議会の取組を総合計画に記載してはどうか。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「地域福祉を担う多様な主体の取組について、市民への周知を図るとともに、地域福祉への理解と参加を促進されたい。」	主要意見
6	障がい者福祉の充実	44	幼少期から障害への理解を深める啓発が必要である。また、障がいのある人が身近に暮らしていることへの理解も重要である。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「障がいのある人が地域で安心して自分らしく暮らし続けられるよう、幼少期から障害への理解を深める取組を推進されたい。」	主要意見
7	障がい者福祉の充実	44	「障害に対する理解」の主体が明確でない。市民の理解を促進することを明記するとともに、就労を生活のためだけでなく、社会参加の観点からも位置付けてはどうか。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「市民や事業者など社会全体で障害特性や社会的障壁に対する理解を深めるとともに、就労、就学、地域活動などの障がい者の社会参加を促進されたい。」	主要意見
8	高齢者福祉の充実	45	これから住み始める人もいることから、「住み慣れた」という表現は必ずしも必要ではないのではないか。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「移住者や転入者も含め、誰もが地域で安心して暮らし続けられるよう取り組まれたい。」	主要意見

基本目標2「安心して暮らせるまち」における意見の整理（事務局案）

No.	施策	頁	ご意見等の内容	事務局案	区分
9	健康の保持・増進	46	後天的な聴覚障害は早期の受診・治療が重要であるため、聴覚に異常を感じた際の対応など、正しい知識を普及する必要があるのではないかな。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「疾病や障害の予防、早期受診につながるよう、健康に関する正しい知識の普及や相談支援の充実に取り組まれない。」	主要意見
10	地域医療の充実	47	2040年に向けて、医療・介護ニーズが複合化する一方、生産年齢人口の減少による医療の担い手不足が懸念される。健康寿命の延伸や生活の質の向上、ACP（人生会議）の普及も含め、将来を見据えた地域医療体制の方向性を示してほしい。	原案を以下のとおり修正します。 現状と課題 「・地域の医療機関における診療科の偏在や、医師をはじめとした医療従事者の人材不足を背景に、地域における医療提供体制の確保が重要な課題となっています。また、2040年に向けて、高齢化の進行に伴う医療・介護の複合的なニーズが高まる中、誰もが安心して受診できる環境を維持するため、限りある医療資源を適切に利用することが求められています。」	原案修正
11	防災・危機管理体制の充実	48	サイバー攻撃などへの対応が遅れると、市民生活に大きな影響が生じる。「様々な危機事象」では具体的にイメージしにくいいため、施策の方向性に具体例を記載してはどうか。	市民にも具体的なイメージを持っていただけるよう、注釈において下記の通り記載します。 「※様々な危機事象：サイバー攻撃や、国民保護計画における武力攻撃、各種テロ行為などを指す。」	注釈追記
12	防災・危機管理体制の充実	36・48	災害時の避難所としての活用も踏まえ、体育館の冷暖房設備の整備について施策の方向性に記載してはどうか。（基本目標1から引継ぎ）	主要な意見として以下の内容で整理します。 「災害時における市民の安全・安心を確保するため、避難所環境の充実や、大規模地震に伴う火災の未然防止など、災害時の被害軽減に向けた取組を着実に進められたい。」	主要意見
13	防災・危機管理体制の充実	36・48	災害時の避難所環境等を踏まえ、体育館への空調設備の整備や、地震に伴う火災を防止するための感震ブレーカー等の対策について検討する必要があるのではないかな。		
14	防災・危機管理体制の充実	48	県下最大の流域面積を有する加古川が氾濫した場合、市民の生命や生活に甚大な被害が生じるおそれがある。水害リスクの大きさを市民に周知するため、より具体的に記載してはどうか。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「加古川の氾濫をはじめとする水害リスクについて、市民が正しく理解し、適切な避難行動をとることができるよう、分かりやすい情報提供と防災意識の向上に取り組まれたい。」	主要意見
15	防災・危機管理体制の充実	48	災害時のボランティアセンターについて、予定する施設が浸水して設置できない場合に備え、代替地への設置など、状況に応じて柔軟に対応できる体制を整えてほしい。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「災害時にボランティアによる支援を円滑に受け入れられるよう、関係機関と連携し、被災状況に応じて柔軟に対応できる受援体制を整えられたい。」	主要意見

基本目標2「安心して暮らせるまち」における意見の整理（事務局案）

No.	施策	頁	ご意見等の内容	事務局案	区分
16	防災・危機管理体制の充実	48	外国人への防災情報の周知について、現在の取組を確認したい。また、地域の防災活動に外国人が参加できるよう、地域から声をかけてもよいのか。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「外国人にも防災情報が届き、地域の防災活動に参加できるよう、関係機関や地域と連携した啓発と参加機会の充実を図られたい。」	主要意見
17	消防・救急体制の確保	49	管理が十分でない空き家では、火遊びなどによる火災発生のおそれもあることから、火災予防の観点を含め、空き家の適正管理を進めてほしい。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「管理が十分でない空き家における火災等の危険を防止するため、所有者等による適正な管理を促進されたい。」 ※基本目標4で整理	主要意見
18	消防・救急体制の確保	49	野焼きを行う人の中には、火災発生時の対応が難しい高齢者もいることから、啓発や意識改革だけでなく、火災を未然に防ぐための支援や取組を進める必要がある。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「さらなる火災予防に向け、野焼きについての注意喚起や啓発にとどまらず、火災発生時の対応が難しい方への支援を含め、必要な取組を推進されたい。」	主要意見
19	消防・救急体制の確保	49	AEDを有効に活用するためには、身近な場所への設置が重要である。設置箇所の拡大に向けた支援を検討しているか。	主要な意見として以下の内容で整理します。 「救命率の向上に向け、AEDを利用しやすい環境の充実を図るとともに、貸出制度の周知や救命講習を推進されたい。」	主要意見
20	防犯・交通安全対策の推進	50	犯罪や交通事故を防ぐためには、個人への啓発だけでなく、事業者による防犯・交通安全対策も重要である。施策の方向性に事業者の取組を位置付け、まち全体で犯罪や事故を起こさせない環境づくりを進めてはどうか。	原案を以下のとおり修正します。 施策の方向性 「地域における防犯・交通安全活動について、担い手不足への対応を含めて持続可能な体制を整えるとともに、市民・事業者への啓発を推進します。」	原案修正
21	安全・安心な消費生活の推進	51	消費者被害が複雑化・多様化し、こどもから高齢者まで被害を受ける可能性がある。消費者一人一人が被害を自分事として捉え、適切に対処できる力を高めるため、消費者教育を推進する記載をしてはどうか。	原案を以下のとおり修正します。 施策の方向性 「被害リスクの高い層へのアプローチを強化するとともに、幅広い世代を対象とした消費者教育を推進し、消費者被害の未然防止につなげます。」	原案修正